

発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 安藤 武典
 編集人 中平等 新一
 名古屋市天白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◇11月25日(金)「遭難を考える」講演会(県スポーツ会館) <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>



① 開会に当たり挨拶をする安藤武典会長(左)
 ② 班別に「遭難時の行動シミュレーション」実習

愛知岳連・気象遭難対策講習会

遭難時の行動シミュレーション実習!

去る7月10日(日)気象遭難対策講習会が、県スポーツ会館大会議室で午後1時から行なわれ、講師にウエザーフロンティア東海・気象予報士・大矢康裕氏を迎え35名が受講した。

講義は、第1部から第3部に分けられ、第1部の基礎編から始められた。

まず「雲について知ろう」と、雲の分類(10種)の雲形の現われる高さとその特徴。どのような時に雲が得意やさかなど、雲のできる条件や平地と山の天気の違いについて説明がある。

また「天気図の見方」では各季節ごとの遭難時の天気図について解説があり、気象情報の活用や現地で雲や天気を観察(観天望気)することも重要である。

第2部は応用編で、過去の遭難事例の解説でトムラウシの遭難事故が取り上げられ、また、13年の白馬岳雪崩事故についても説明がある。実際にスイス放送局の雪崩の動画を見て、雪崩の凄さを認識させられた。

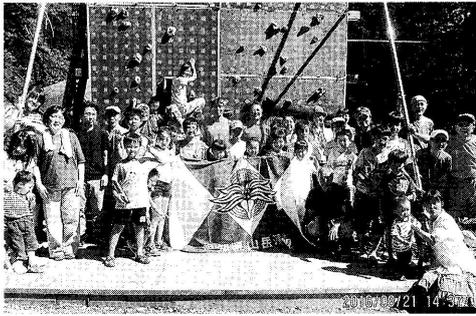
次に、遭難の疑似体験(行

動シミュレーション実習)で「危険が予想される時に、いかにして危険を避けるか」「万が一、事故に遭った時に助かるためにはどう行動するか」普段から考える訓練をしておくことは、いざという時に慌てないためにもとても大事である。ということでも3班に分かれ、出題された課題について検討し、結果を発表し意見を交した。

第3部では「夏の天気の見通し」。今夏の天気の注意点として、夏にラニーニャ現象の発生が予想され、次第に太平洋高気圧の張り出しが強まるため、以下の天気が考えられる。

▲太平洋側の山は晴れる日が多く気温が高い「早出早着」を守る。積乱雲に注意する。

▲日本海側の山は梅雨明けが若干遅れる可能性あり、梅雨前線の位置に注意、台風が接近すると太平洋高気圧が弱まることがあり、台風の進路に注意する。最後に猪熊隆之さんの書籍などが紹介され、日頃から事故に遭わないよう意識して登山を楽しんで下さいと結び、16時45分終了した。



少年少女登山教室（親子ふれあい山遊び）を朝明渓谷で沢歩きとスポーツクライミング体験を実施しました。

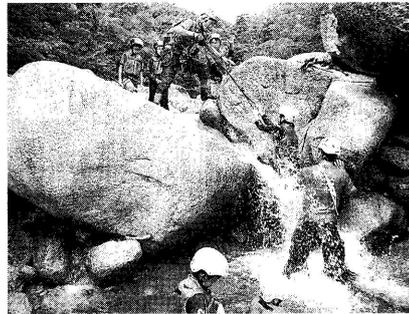
今年には知多市岡田地区の子ども会がメインに子供20人、父兄12人、役員15人の計47人の参加でした。

8月21日9時より開会式のあと、子供たちにヘルメットとライフジャケットを付けさせ、舗装道路を歩いて入川ポイントへ移動。保護者の人たちも一緒に遊ぼうと誘いました。計画では3、6年生を対象としたのですが、1歳の子どもを抱っこしたお父さんや4歳の子供にもライフジャケットを付けて遊ばせたり、みんなで沢歩きを楽しみました。大岩を水を浴びて越えたり、淵でぶかぶかと浮かんだり、大人も子供もキラキラと目を輝かせておりました。朝明橋近辺で堤から落ちる水しぶきを浴びて沢歩きを終了。

ベースの山小屋に帰るとカレースパゲッティができており、みんなでおお喜びました。から揚げ、BBQ、そうめんなどスタッフが食事をいっぱい作ってくれ、おなかも大満足でした。

午後からはスポーツクライ

少年少女登山教室（親子ふれあい山遊び） 沢歩きやクライミング楽しむ



大会1日目は、天気図、救急法、ロープワークなどの講習を行ない、2日目は海老沢に移動して沢登りを行いました。今年には水量が少なかったが、参加した登山部員の多数は沢登りが初体験であり、山の楽しみ方の一つを教えることができたと思います。3日目は踏査競技を県民の森内のコースで行い、3日間の大会を終えました。

5年ほど前から登山部員の増加が続いており、今年に参加者は150名を超えました。参加者の増加は本場に嬉しいことですが、運営が大変です。部員の増加に反して、退職に

盛況だった高体連夏期大会 ～運営面に不安、岳連の協力を～

8月17日～19日に高体連の夏期登山大会が愛知県民の森を会場に開催されました。今年には天候にも恵まれ予定通りの行動ができました。

チャレンジも始まった。みんなの笑顔と笑顔。スポーツクライミング体験を十分楽しみ、15時に閉会式を行い、みんなの「楽しかった」の声にスタッフも大満足でした。

(安藤 武典)

よる高体連役員数の減少で、役員OBや卒業生をかき集めてかろうじて運営している状況です。そこで、私の個人的な思いではありますが、可能であれば来年度から補助的な業務で山岳会の方にも運営役員としてお手伝い願えたらと考えています。登山を楽しむ高校生と山岳会との接点になればという思いもあります。卒業していく部員にはいつも「山を続けて」と訴えています。ですが、受け皿となる山岳会を紹介できる絶好の機会になるのではないのでしょうか。

(岩狭 満)

なお、踏査競技の結果は、以下のとおりです。

- (男子) 優勝 岡崎A、2位 豊川A、3位 向陽
- (女子) 優勝 菊里A、2位 菊里B、3位 桜台

うなぎ錦三丁目 い ば しょう

いばしょう

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号
TEL <052> 951-1166 番

営業時間 午前 11:00～午後 2:30
午後 4:00～午後 8:00

定休日 日曜日・第二・第三月曜日

Renopoint

<http://www.renpoint.jp>

Original Wear & Goods

オリジナルウェア・CMウェア (広告掲載)
カジュアルユニフォーム&グッズ

デザイン・企画・制作
お気軽にお問合せ下さい。

特許出願 GLASS PERCH(グラスパーチ)

株式会社リノポイント 〒491-0835 愛知県一宮市あずら1-5-7
TEL:0586-58-5021 FAX:0586-58-5022 E-mail: ito@renpoint.jp

東海四県正副会長理事長会議

28年度東海四県正副会長理事長会議が7月30日午後、名古屋工業大学8階会議室で行われ、次の方々が出席した。

前川副会長、木ノ内理事長（静岡） 亀井会長、居村理事長、松尾競技委員長（三重） 塚原理事長（岐阜） 安藤会長、北村理事長（愛知）

〔議題1〕第37回東海ブロック大会の報告及び課題

国体出場は、成年女子・静岡、少年男子・岐阜、愛知、少年女子・岐阜の4チームであった。会場費の出費が多く、今後は会場費にルートセッター1代も含める予算の立て方、及び各県体協、日山協の補助など有効に活用したい。またブロック大会の大会審判ができるB級審判を東海地区でも増やす必要がある。

〔議題2〕個人会員制度

各県の取り組み状況を報告。いずれも運営や事故対策に課題のあることが確認された。

〔議題3〕登山関係の情報交換

昨年度の事故事例が岐阜、三重から報告された。愛知県の人々が事故になる例も多く、更に県内の事故防止啓発活動が必要であると報告された。

御岳山の噴火直後は、愛知県教育委員会から積極的な遭難防止活動の提案もあったが、

一年後には全く消極的で愛知岳連が失望している状況を伝える。日山協関係で「山の日の行事、登山研修所の確保技術ハンドブック、富士登山のPR、伊吹山の側道問題など報告された。

〔議題4〕高齢化と若手育成

岳連のHPの充実がプレゼンス向上に役立つことが岐阜より報告、また各県から高校登山部の顧問の高齢化と10年後に予想される指導者不足が深刻であると報告された。

〔議題5〕東海ブロックの全国行事

30年に三重でインターハイがあり、鈴鹿山系で参加者500人規模の予定、33年の国体は菰野町が山岳競技を受ける方向。できれば救助技術の訓練や登攀具などの強度試験もできる施設を検討中。

〔議題6〕日本山岳協会の名称に関する意見交換

オリンピックとの関連説明、若い人の取り込みと活性化、各県の名称とは別などが議論され、出席者の間でスポーツクライミングに関する名前を取り入れることへの反対はなかった。

以上、短い時間だったが集中的に意見交換を行った。

（北村 憲彦）

印象に残った私の登山

9

急峻な雪稜に脅えつつ

日本RCC 荻須 昭大

私が山に憑かれて幾星霜が過ぎた。その間、滝谷での冬期初登攀を含む幾つかの登攀。ムズターゲタワラでの高所登攀。内でも恐怖に脅えつつ登ったのは、昭和45年の錫杖岳中央稜の登攀だ。パートナーの八木毅氏は前穂東壁Dフェース、滝谷ダイヤモンドフェースなどの冬期初登攀の記録を持つ頼りになる先輩だ。

12月30日、北沢に入るといきなり雪崩に巻き込まれる。顔面には拳大程の雪塊がビューンビューンと音を立てて飛んで来る。あわてて前衛フェース基部の岩陰まで逃げる。雪崩の轟音に脅えつつも中央稜の末端に取り付く。P3正面壁の少し右のルンゼに取り付くが30メートル程先の残置ハーケンまで登り撤退。止む無くP2から稜上に出る事に。しかし北沢は雪崩が頻発するので夕方まで待機。右ルートで2ピッチ登り、更に急峻な雪壁を登ってP1とP2のコールへ。やっと雪洞を掘り終えたのは深夜の11時。ビレーを取っての恐怖に満ちた一夜と

なる。

朝起きて昨日登って来たトレールを確認すると、その急峻さに身の毛も立つ程ゾツとした。更に本峰フェースに取り付くも、10日分の荷物は余りにも重く外傾した壁から体は振られてしまう。本峰經由をあきらめ、クリヤ谷經由で縦走を続ける事にした。沢は雪崩の恐れがあるので前衛フェースを下る事に。しかしこれがまた最悪。烏帽子岩の南面をトラヴァースするも3ピッチで1時間半を費やす。結局その日は前衛フェースP2の頭で恐怖の二晩目を過ごす。

翌1月1日、早朝から下降路を捜し右往左往する中、何とか北面の岩壁帯にルートを見出す。2ピッチ80メートルトラヴァースした後、30メートルの懸垂下降で三日ぶりに両足を安定した雪面に置く事ができ安堵。その後、クリヤの頭、笠ヶ岳、左俣岳でピバーク。4日、5日は暴風雪に阻まれ沈殿。ここで西穂高岳までの縦走を断念し、槍ヶ岳から新穂高温泉へ下山する事に。

無念さを残して6日の夜に中崎山荘着。

建設業許可を取りたい、日本国籍を取得したい（帰化）、遺言を公正証書で作成したい、戸籍謄本や除籍謄本を代行取得して欲しい、任意成年後見の相談をしたい、会計記帳を頼みたい等々

ご相談は行政書士の西山秀夫へ

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目21番21号
 (地下鉄・久屋大通駅から徒歩2分) 丸の内東桜ビル1004号室
 TEL: 090-4857-9130
 URL: http://www.nygs-office.com/

CLIMBING PARK 東三河初のクライミング施設



http://climbing-park.com

☎0532-26-3737

MONTANA

モンタニア

住所: 愛知県豊橋市関屋町138番地

住所 愛知県豊橋市萱町5番地 ☎0532-55-0125 http://www.montania.jp

平成28年度全国山岳遭難対策協議会

山岳遭難の特徴や救助活動の実態！

全国山岳遭難対策協議会が7月8日(金)国立オリンピック記念青少年総合センター国際会議室に於て、登山における遭難事故を防止するため、全国から警察、消防、山岳関係者ら約250名が出席して、午前10時開催されました。

まず、主催者を代表してスポーツ庁・木村哲也審議官が挨拶をし会議が進められた。報告1は「平成27年中における山岳遭難の概況」(5頁参照)を警察庁・竹村史嗣地域課長補佐よりあり、報告2は「山岳救助活動の高度化等について」と題して、消防庁・新村満弘国民保護・防災部参事官補佐から、御嶽山噴火災害を踏まえた山岳救助活動の高度化等を中心とした報告があった。

次に、講演1は「山岳救助活動と医療の連携について」を国際山岳医・大城和恵氏が山岳救助活動への医療のかかわりについて語り、講演2では「長野県登山安全条例の目指すもの」と題し、長野県観光部山岳高原観光課・井原聖氏が登山条例が登山者に登山届の責務を負わせるだけでなく、

行政や関係団体の役割を明確にし、登山道のグレーディングを示し、遭難事故を減らす長野県の取り組みを話された。つづいて「山岳グレイデー

ングと一般登山者の遭難対策」についてパネルディスカッションが行われ、最後に「山岳遭難事故防止のために」のソロガンを採択し、八木原日山協会長の挨拶で午後4時閉会した。(高橋 優)

12月20日冬山遭対会議

12月20日(火)県スポーツ会

館で午後7時より冬山遭難対策会議が開かれます。年末年始に登山を計画されているパーティーのリーダー又は代理の方は、計画書10部を持参して必ず出席してください。各山域ごとに別れ計画書を基に話し合うことになっています。尚、同時に期間中の天気概況について、気象予報士に解説して頂きます。

平成28年7月13日

谷 宗 刊 日

署内 傷病者救助を称え 名古屋の医師蓮見さんへ

(やまびこ山想会)

稚内署では11日、利尻空港警備派出所で利尻山麓泊コースでの傷病者救助に関し、迅速な対応などで傷病者が一命をとりとめたとして、名古屋市長在任の医師、蓮見昭武さん(74)に稚内警察署長感謝状を贈った。

これは、去る8日に登山していた、神奈川県在住の60歳代女性が下山中、7合目と8合目の間で体調が悪くなっていたところに、名古屋市の仲間と登山していた蓮見さんが偶然

通りかかり、この女性を診断。左手や左足が動かないことや目の動きを確認し、非常に危険な状態と判断。大きな病院に搬送できるようにと救助要請。その後、バイタルチェックや保温措置、経過観察など防災ヘリ収容までの約3時間に渡って対処した。



感謝状を受けた蓮見さん

同派出所で蓮見氏へ感謝状を手渡した田辺と話した。

署長は「医者という専門的な知識があったことで、家族も安心できた。地元の警察署として心から感謝」。蓮見さんは「医者として当然のこと。お役に立てて大変光栄です」と話した。

名古屋駅前の山用品専門店

駅前アルルス

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-10 名古屋クロスコートタワー 1F TEL 052-565-1417

安心して選べる三河地区のプロショップ

穂高

JR刈谷駅前 〒448 刈谷市桜町1-13 TEL0566(23)8611 定休日/火曜日 営業時間/10:00~20:00



登山用品豊富!

◆全国遭難発生概要

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	
											構成比
発生件数(件)	1,417	1,484	1,631	1,676	1,942	1,830	1,988	2,172	2,293	2,508	
遭難者数(人)	1,853	1,808	1,933	2,085	2,396	2,204	2,465	2,713	2,794	3,043	100.0%
死者・行方不明者	278	259	281	317	294	275	284	320	311	335	11.0%
死者	251	233	253	269	262	244	249	278	272	298	9.8%
行方不明者	27	26	28	48	32	31	35	42	39	37	1.2%
負傷者	648	666	698	670	832	819	927	1,003	1,041	1,151	37.8%
無事救出者	927	883	954	1,098	1,270	1,110	1,254	1,390	1,442	1,557	51.2%

◆態様別山岳遭難者

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
道迷い	917	1,031	1,134	1,163	1,202	39.5%
滑落	367	380	460	501	501	16.5%
転倒	317	346	393	401	467	15.3%
病気	145	186	221	187	232	7.6%
疲労	127	132	137	162	172	5.7%
その他	331	390	368	380	469	15.4%
転落	74	93	73	90	107	3.5%
悪天候	31	37	64	42	70	2.3%
野生動物襲撃	43	34	42	48	43	1.4%
落石	24	12	17	16	25	0.8%
雪崩	27	8	20	9	17	0.6%
落雷	2	5	3	0	1	0.0%
鉄砲水	7	18	7	2	0	0.0%
有毒ガス	0	0	1	0	0	0.0%
その他	78	136	83	108	128	4.2%
不明	45	47	58	65	78	2.6%
合計	2,204	2,465	2,713	2,794	3,043	100.0%

◆単独登山者の遭難状況

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
遭難者	761	757	852	941	1,068	100.0%
死者・行方不明者	154	149	164	190	185	17.3%
死者	128	119	131	160	160	15.0%
行方不明者	26	30	33	30	25	2.3%
負傷者	255	256	284	291	350	32.8%
無事救出者	352	352	404	460	533	49.9%
全遭難者に占める単独登山中の遭難者の割合	34.5%	30.7%	31.4%	33.7%	35.1%	

◆都道府県別山岳遭難発生状況

(平成27年度)

都道府県	発生件数	遭難者数(人)	死者(人)	行方不明者(人)	負傷者(人)	無事救出(人)
長野県	273	300	58	4	132	106
北海道	175	235	12	3	50	170
富山県	136	156	13	2	84	57
三重県	61	80	8	2	21	49
岐阜県	93	117	13	3	41	60
愛知県	8	10	-	-	3	7

